

2024年 国際女性年大阪連絡会 平和集会

いくさふむ  
『戦雲』



要塞化する沖縄』

～おばあたちから紡ぐ

みるくゆ  
弥勒世！～

三上智恵さん  
映画監督、ジャーナリスト  
95年琉球朝日放送開局を機  
に沖縄に移住。沖縄の自然、  
文化、社会問題をテーマにド  
キュメンタリー作品を制作。  
『標的の村』『戦場ぬ止み』等  
で数々の賞を受賞。

“弥勒世”とは沖縄の言葉で「平和な世界！」  
太平洋戦争で悲惨な戦場となった沖縄の島々に、今再び自  
衛隊のミサイルが次々と運び込まれています。  
「私たちの島はまた戦争に使われるのか！？」必死に抵抗  
する島の人々の声を追い、沖縄をテーマにした5作目の渾  
身のドキュメンタリー映画を製作した三上監督に、その思い  
を語っていただきます。  
絶対に戦争への道を歩ませないことをともに確認しあいま  
しょう。

日時:2024年

8月22日(木)

18:30～20:30(18:20 受付)

場所:ドーンセンターパフォーマンススペース

講師:三上 智恵さん(映画監督)

参加費:1,000円 ※学生は無料です

当日学生証をお持ちください

主催 国際女性年大阪連絡会、部落解放共闘女性連絡会議

後援 大阪平和人権センター

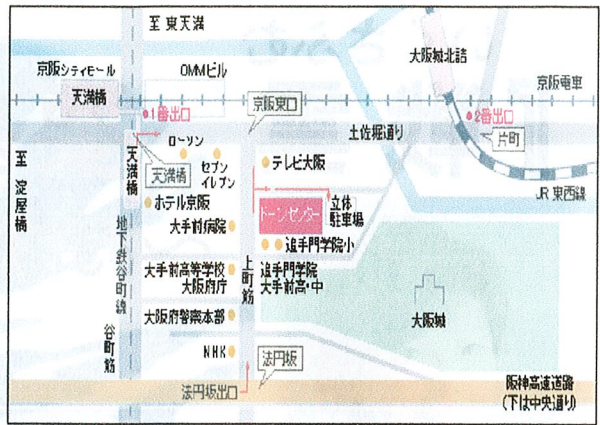


ドーンセンター

大阪市中央区大手前1丁目3番49号

Tel 06(6910)8500

- ・京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通して1番出口より東へ約350m。
- ・地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。
- ・JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。



# 戦雲

いくさぶむ



**『標的の村』『沖縄スパイ戦史』  
三上智恵監督  
6年ぶり、渾身の最新作**

本作は2015年から8年かけ沖縄・南西諸島をめぐる取材を続けてきた映画監督でジャーナリストの三上智恵による渾身の最新レポートである。タイトルは、山里節子さんが、また戦雲が湧き出してくるよ、恐ろしくて眠れない」と歌った石垣島の葬儀情とうばらーの歌詞に由来。映画が映し出すのは、民意を置き去りにしたままなし崩し的に進む戦力配備の実態だけではない。過酷な歴史と豊かな自然に育まれた人々の暮らしや祭り——それこそ、まがしの「抑止力」の名のもとで今まさに蹂躪されようとしているかがえの何かない。あり、私たちの希望と祈りの源にほかならない。

**本当の「国防」とは何か？  
圧殺されるのは沖縄の声だけではない**

沖縄本島、与那国島、宮古島、石垣島、奄美大島——この美しい島々で、日本政府の主導のもと急速な軍事要塞化が進行している。自衛隊ミサイル部隊の配備、弾薬庫の大増設、基地の地下化、そして全島民避難計画……。2022年には、「台湾有事を想定した大規模な日米共同軍事演習」キーン・ソード23」と安保三文書の内容から、九州から南西諸島を主戦場とし、現地の人々の犠牲を事実上覚悟した防衛計画が報じられた。しかし、その真の恐ろしさを読み解き、驚かすメディアはほとんどない。全国の空港・港湾の軍事拠点化、兵站基地化が進められていることをどれほどの日本人が知っているか。本当の「国防」とは何か。圧殺されるのは沖縄の声だけではない。

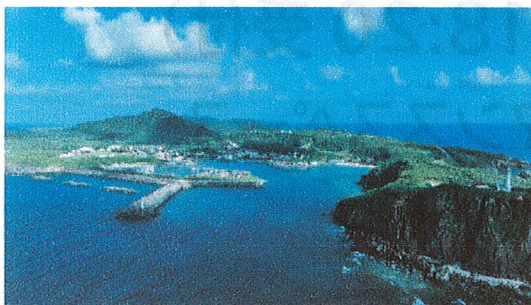


**石垣島**  
若者主導の住民投票運動は市議に潰され、ミサイル基地が島の真ん中にてきた。



**宮古島**  
集積の殺近くにミサイル基地、射撃演習場を備えた弾薬庫も完成した。

**沖縄本島**  
島々に配備されたミサイル基地は本島がまもなく完成、民間の進めが次々と軍事訓練に使われている。



今からでも遅くはない。共に目撃者になり、今という歴史を背負う当事者になってほしい。

三上智恵  
監督監督シヨウゴ

最新刊情報  
**戦雲**  
要塞化する沖縄、島々の記録  
三上智恵 著 集英社新書  
1,320円(税別) 発売中

(C) 2024 『戦雲』 製作委員会 【三上智恵監督最新作『戦雲』全国公開中&上映会受付中】

◆ 国際女性年大阪連絡会 ◆  
大阪市北区天神橋 2-5-3 第5新興ビル 202  
I女性会議大阪気付 電話 06-6352-3704